

ICTを活用した新たなヘルスケアサービスの推進について

平成30年10月29日

経済産業省 ヘルスケア産業課

健康・医療システムのイメージ

- 内因性疾患（生活習慣病／老化に伴う疾患）のウエイトが高まる中、予防・進行抑制・共生型の新たな健康・医療システムを確立することが求められる。

<疾患の性質>

<主な疾患>

<治療方針>

<求められる取り組み>

従来の医療

外因性
疾患

単一標的型疾患

感染症

遺伝性疾患

がん

(標的特異性の高いもの)

根治

(誰でも同じ
標準治療)

○ 安全で奏効率の高い医薬品の開発

- ・的確かつ迅速な診断方法の確立 等
- ・効率的な治験の実施、生産技術の改善
- ・レギュトリスアエンスの推進

内因性
疾患

多因子
関連型
疾患

主に
老化
に伴う
疾患

主に
生活習慣
に係る
疾患

がん

認知症

高血圧

糖尿病

早期診断

進行抑制

共生

早期診断

予防

行動変容

患者の性質や状態に応じて異なる

○ 潜在的な患者の早期発見

○ 病状の進行を適切に管理・抑制

- ・早期診断技術の開発
- ・服薬等に加え、生活指導を実施
- ・データの蓄積等による進行抑制手法の確立 等

○ 潜在的な患者の早期発見

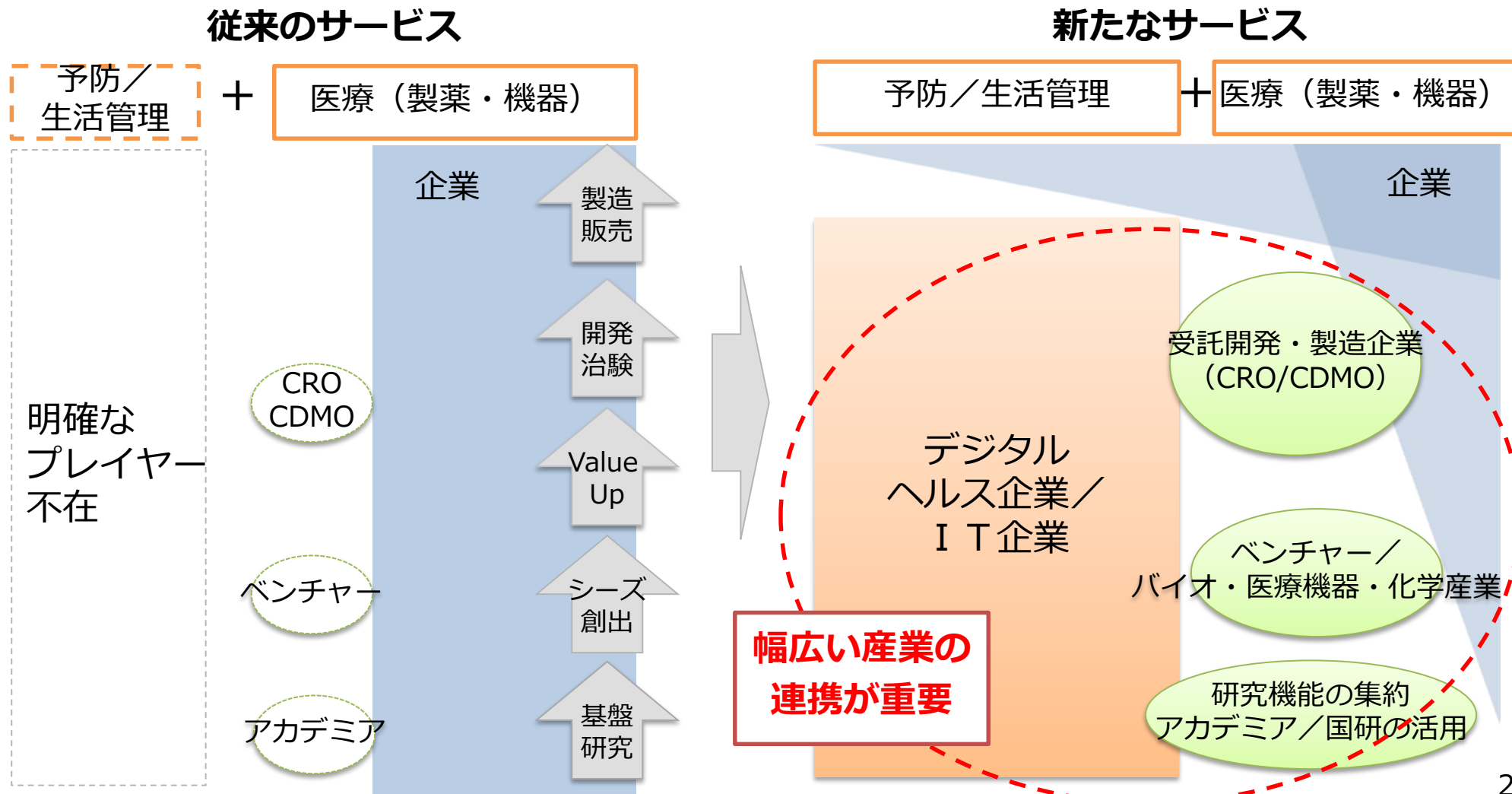
○ 予防を基本とする健康・医療サービス

- ・定期健診、保健指導の徹底
- ・IoT、AI等を用いた健康管理ツールの開発
- ・薬剤師、管理栄養士等の役割強化
- ・セルフケアの推進 等

予防・進行抑制・共生型の健康・医療

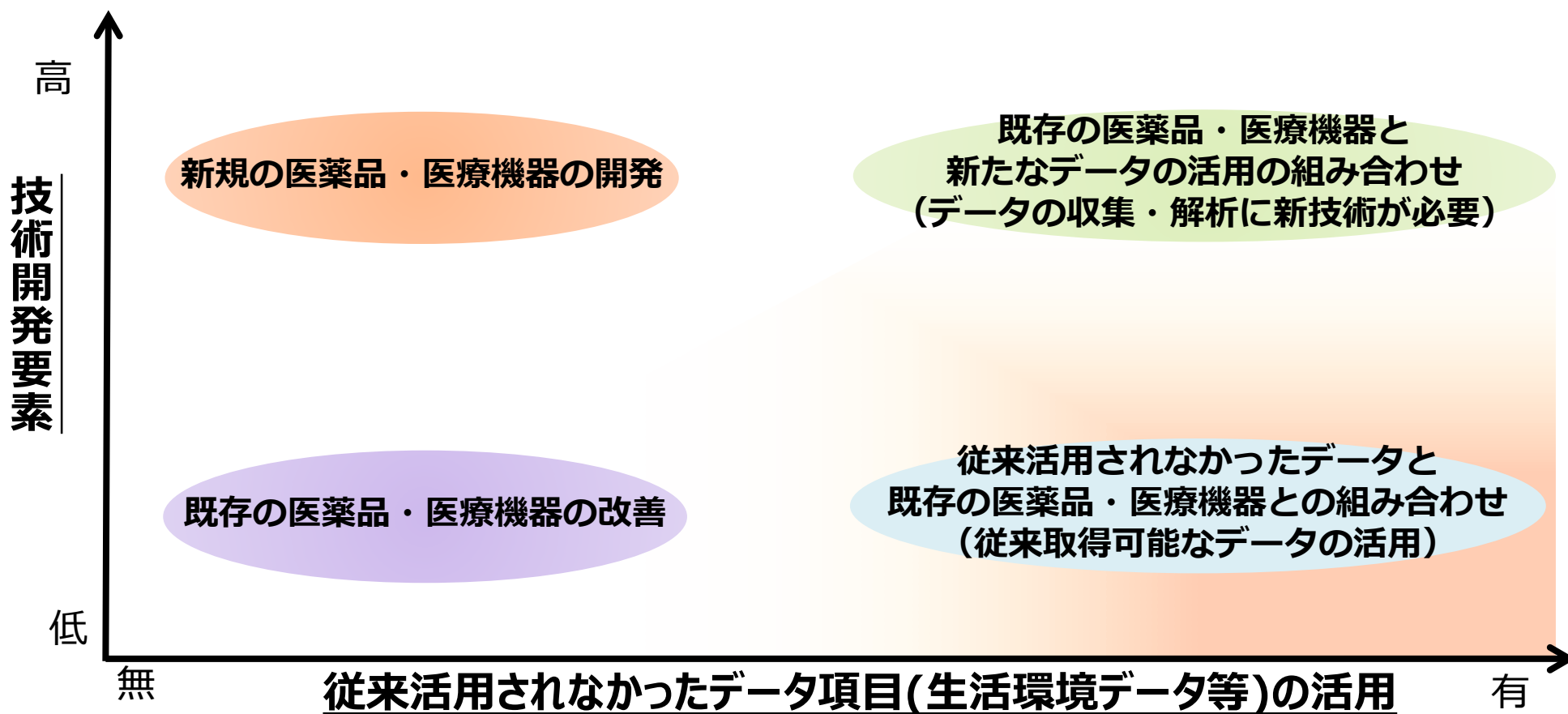
ICTを活用した新たなヘルスケアサービス

- ICTを活用することで従来医療現場が十分に活用しきれなかった情報（日常生活情報等）の収集・活用が可能になり、様々な主体が連携し、予防・生活管理サービスを含めたヘルスケアソリューションを提供が進む。



医療分野のイノベーションにおける新たな視点

- 技術革新によって、予防・モニタリングを含めた、従来必ずしも活用されてこなかったデータ（日常生活情報等）の活用が可能になりつつある。
- 薬、機器、サービスを別々に開発するのではなく、組み合わせてパッケージで提供するアプローチが重要になる（パッケージ型ヘルスケアソリューション）。



…今後重視すべき分野

ICTを活用した新たなヘルスケアサービスの社会実装に向けた経済産業省の取組

● 民間主導による、日常生活の情報を活用した予防・健康づくりの取組を促進するため、経済産業省は下記の政策を実施。

1. 糖尿病重症化予防に向けたIoTを活用した行動変容サービスの社会実装支援

- 糖尿病分野でのIoTを活用した行動変容促進事業において、日本糖尿病学会と連携して、来年度中にエビデンスを構築する。さらに、エビデンスを基にしたサービス開発等を支援し、社会実装を進める。
- 企業や健保等での活用促進に向けた方策を検討。

平成31年度概算要求
11.4億円
健康・医療情報を活用したヘルスケアイノベーション基盤整備事業

2. パッケージ型ヘルスケアソリューションの開発・実証の支援

- ヘルスケアソリューションの開発・実証を行うプロジェクトを来年度から開始予定。
- 日常生活情報等がケア全体のアウトカム向上につながるエビデンスを構築。

「健康・医療情報の利活用に向けた民間投資促進に関する研究会（ヘルスケアIT研究会）」において議論中

3. 医療専門職と産業界の相互理解促進に向けた取組

- 健康・医療情報の取扱いに際し、必要な法令やガイドライン等を遵守している民間企業（非医療機関）の「見える化」を実施する。
- 研究会において本年度中に一定の基準を示し、その基準に基づいて民間による第三者認証制度の提供を促進。